

安全データシート

1.【製品及び会社情報】

カタログ番号	306596/306597
製品名	BD ピュアハブ™ ネオ/ BD ピュアハブ™ ネオ 10 連タイプ
会社名	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所	東京都港区赤坂 4 丁目 15 番 1 号
連絡先	www.bdj.co.jp/s/cs/ (カスタマーサービス)
推奨用途	医療機器
使用上の制限	上記用途以外には使用しない

2.【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分 3
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(中枢神経系、全身毒性)、区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(血液系)、区分 2(脾臓、呼吸器、肝臓)
	誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
絵表示		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	引火性液体及び蒸気 強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 中枢神経系、全身毒性の障害 長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害 長期にわたる又は反復ばく露による脾臓、呼吸器、肝臓の障害のおそれ 水生生物に有害	
注意書き	安全対策	・使用前に取扱説明書を入手すること。 ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 ・容器を密閉しておくこと。 ・容器を接地しアースをとること ・防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。 ・火花を発生させない工具を使用すること ・静電気放電に対する措置を講ずること。 ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 ・取扱い後は手をよく洗うこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 ・屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 ・環境への放出を避けること。 ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
	応急措置	・皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。 ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受けること。 ・気分が悪いときは医師に連絡すること。 ・気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 ・眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受けること。 ・火災の場合:適切な消火方法をとること。
	保管	・換気の良い、冷暗所で保管すること。 ・容器を密閉しておくこと。
	廃棄	・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3.【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
イソプロパノール	60-70	67-63-0	2-207	2-(8)-319

4.【応急措置】

吸入した場合	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	医師の手当、診断を受けること。 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
眼に入った場合	医師の手当、診断を受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当を受けること。 医師の手当、診断を受けること。 口をすすぐこと。

5.【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法	散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合には散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収、中和：少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。 二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼に入れないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策	消防法の規制に従う。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な保管条件	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気 の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 酸化剤から離して保管する。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8.【ばく露防止及び保護措置】

製品としての情報がないため以下、イソプロパノールの情報を記載する。

イソプロパノール

管理濃度	200ppm
許容濃度	
日本産業衛生学会	最大許容濃度 400ppm, 980mg/m ³ (2013 年度版)
ACGIH(TLV-TWA)	200ppm (2013 年度版)
ACGIH(TLV-STEL)	400ppm (2013 年度版)
設備対策	静電気放電に対する予防措置を講ずること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスクを着用すること。
手の保護具	不浸透性保護手袋を着用すること。
眼の保護具	サイドシールド付きまたはゴーグル形保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体	長袖の保護衣を着用すること。

9.【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	無色の液体
臭い	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	87℃

引火点	24℃
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度(水)	完全に溶解する
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.858
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.【安定性及び反応性】

製品としての情報がないため以下、イソプロパノールの安定性及び反応性情報を記載する。

イソプロパノール

反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。 高温においてアルミニウムを腐食する。
避けるべき条件	高温
混触危険物質	強酸化剤、強アルカリ
危険有害な分解生成物	火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する

11.【有害性情報】

製品としての情報がないため以下、イソプロパノールの有害性情報を記載する。

イソプロパノール

急性毒性	経口(ラット LD ₅₀) 4,384mg/kg、NITE の GHS 分類に基づく。 経皮(ウサギ LD ₅₀) 12,870mg/kg、NITE の GHS 分類に基づく。 吸入(蒸気、ラット LC ₅₀) 27,908ppm、NITE の GHS 分類に基づく。
皮膚腐食性／刺激性	NITE の GHS 分類に基づく。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	NITE の GHS 分類に基づく。
呼吸器感作性	NITE の GHS 分類に基づく。
皮膚感作性	NITE の GHS 分類に基づく。
生殖細胞変異原性	NITE の GHS 分類に基づく。
発がん性	NITE の GHS 分類に基づく。
生殖毒性	NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	NITE の GHS 分類に基づく。
誤えん有害性	NITE の GHS 分類に基づく。

12.【環境影響情報】

製品としての情報がないため以下、イソプロパノールの環境影響情報を記載する。

イソプロパノール

生態毒性

水生環境有害性(急性)	藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) 72 時間 ErC50=1000 mg/L、甲 殻類(オオミジンコ) 48 時間 EC50=1000 mg/L、魚類(メダカ) 96 時間 LC50=100 mg/L、NITE の GHS 分類に基づく。
-------------	--

水生環境有害性(慢性)	甲殻類(オオミジンコ)21 日間 NOEC=100 mg/L、NITE の GHS 分類に基づく。
残留性・分解性	NITE の GHS 分類に基づく。
土壤中の移動性	NITE の GHS 分類に基づく。
生態蓄積性	NITE の GHS 分類に基づく。
オゾン層への有害性	NITE の GHS 分類に基づく。

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

国連番号	UN 1219
国連品名	Isopropanol
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
他の危険物のそばに積載しない。

15.【適用法令】

化審法	優先評価化学物質(イソプロピルアルコール)
労働安全衛生法	危険物・引火性の物(イソプロピルアルコール) 第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2:イソプロピルアルコール) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条:プロピルアルコール) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2:プロピルアルコール) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3:プロピルアルコール)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	危険物 第2類 引火性固体 危険等級Ⅲ
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(イソプロピルアルコール)

16.【その他の情報】

参考文献

安全衛生情報センター モデル MSDS 情報データベース

GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム(NITE-Gmiccs)
NITE 総合検索

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではございません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。

改訂履歴	新規作成	2018年06月16日
	改訂第1版	2019年12月12日
	改訂第2版	2020年08月17日
	改訂第3版	2026年07月17日